「第7回浴風会つながるフェスタ」に、地域の皆様550名が来場され、大盛況でした。（10月20日）

浴風会

11月号

平成 30 年 11 月 1 日発行
【発行者】〒168-8510
東京都杉並区高井戸西 1-12-1
社会福祉法人　浴風会
京極　高宣
ＴＥＬ（代表）03-3334-2101
http://www.yokufuukai.or.jp/
【編集者】露口　長
【印刷所】株式会社サイド・ビー

安らぎの場所

公益財団法人　社会福祉振興・試験センター
常務理事　矢田　宏人

小春日和の暖かな午後、深紅に染まったヤマハゼと黄金色に輝くイチョウモミジが舞い落ちてくる。ここに足を向け始めてかれこれ45年になろうか。子供の頃は、いわゆる「虫捕る少年」で、中高では遺伝や冬虫夏草の研究に明け暮れた理系少年だったこともあり、今でもこの場所をよく訪れる。東京都文京区白山にある小石川植物園である。４千種に上る植物が生息し、昆虫も多い。正門から続く坂を上ったところには、「万有引力の法則」を発見した物理学者ニュートンの生家にあったリンゴの木の接ぎ木や、その隣には、遺伝学者メンデルが実験に用いたぶどうの分株が生き続けている。そして、植物園の中央には、平瀬作五郎が、生物学史上の世界的偉業とされている種子植物にも精子が存在することを発見するもととなった樹齢３００年の大イチョウが鎮座している。私にとってとても安らぐ場所の一つである。

そして、この植物園と同じ感覚を与えてくれたのが浴風会である。浴風会を初めて訪れたのはかれこれ30年ほど前になるが、樹齢を重ねた多くの木々や清楚な花々に囲まれた浴風会のたたずまいが、私に新鮮な気持ちと安らぎを与えてくれたことを今でも覚えている。どちらも私のお気に入りの場所である

そしてその数年後、両者には深い関係があることを発見した。小石川植物園のくだんの大イチョウの近くに、大震災記念碑が建っている。大正12年９月１日の関東大震災（死者９万人、被災者３４０万人超）による被災者３万人が、内務省により園内に設けられた急設救護所で避難生活を送ったという。そして、大正14年１月に最後の居住者が退去したとのことである。

かたや浴風会は、関東大震災の被災者で、困窮する老衰者、廃疾者の安住の場づくりを目指して、大正14年１月15日に、内務省社会局により「財団法人浴風会」として創設され、その後事業を開始している。きっと小石川植物園の避難者で浴風会の救護を受けた方もいらっしゃったことだろう。

そして縁あって、昨年の６月からこの浴風会に監事として関われたことは、嬉しい限りである。

浴風会は、２０２５年には創設１００周年という大きな節目を迎える。また２０４０年には少子高齢化が進み、高齢者人口がピークを迎え、現役1.5人で１人の高齢者を支えるという「２０４０年問題」も待ち構えている。社会保障制度はこれからも大きな変化があると思うが、先達から受け継ぎ、発展、進化してきた理念を踏まえ、これらに対応できる、時代を先取りした真のザ・センター・オブ・センターズとして更に発展することを期待するとともに、必ずやそうなることを確信している。

（浴風会監事）

第7回　知る！　見る！　体験する！　交流する！

「浴風会つながるフェスタ」大盛況にて開催！

10月20日（土）、第7回「浴風会つながるフェスタ」を開催いたしました。２０１２年から「まるわかり！あんしん介護フェア」として、地域で安心して暮らすために「知る」「見る」「体験する」をキーワードとして身近なところで最新の知識や情報を得られ、地域の声を聞ける“架け橋”になればということでスタートいたしました。今年は、それを更に刷新し、社会福祉法人の地域貢献活動として法人の理念である「地域との共働」を推し進め、新たに“交流する！”をコンセプトに加えました。浴風会をよく知ってもらうために、これまで以上に地域の方々と一体となって、子どもから高齢者まで皆が活躍でき、楽しめるイベントとなるよう、近隣の小・中・高・専門学校の協力や、地域の方々と共に、手作りのアットホームな開催となりました。職員公募で「浴風会つながるフェスタ」と名称を変更いたしました。

今年は天候にも恵まれ、多くの方にご来場いただくことができ、総来場者数は５５０名超。協賛・協力いただいた企業・団体は、総勢50団体。その他にも、ボランティアや出演者として等多くの方にご協力いただきました。

来場者からのアンケートでは、

○「浴風会＝老人」のイメージが強くハードルが高くて近所だけど入りにくかったので、今日色々見学できて良かった。

○子供にとって、とてもためになることもあるので、次回はぜひ連れてきたい。

○「高齢者ファッションショー」とても素晴らしく、出演者の元気にパワーをもらいました。

○お年寄りがバザー販売員等で頑張っている姿が素晴らしいと思いました。

などをはじめ、「ぜひ来年も楽しみにしている」といった声を多数いただきました。

また、協賛・出展いただきました企業の方々からも「社会貢献事業としてとても有意義だった」等のご意見を頂戴し、地域の方々へ向けた顔の見える関係づくりにも結びついているのではないかと実感いたしました。

毎年試行錯誤しながらの開催となりまだまだ課題はありますが、年々地域の方にも浸透してきており、お問合せも多く、楽しみに待っていてくださる方も増えてきているように感じます。浴風会が地域の拠点となり、地域の方の交流の場となるよう、そして、これからも誰もが安心して暮らしていけるために、法人の力を集結して地域貢献に邁進していきたいと考えておりますので、どうぞ今後もお力添えをお願いいたします。

ご協力いただきました各団体、企業の皆様、ボランティア、ご出演等の皆様、そしてご来場くださいました皆様に紙面を借りて厚く御礼を申し上げます。

（ケアスクール校長　服部安子）

外会場　ケアハウス前・浴風園前・中庭

お天気に恵まれ、外会場も大盛況となりました。特に、外会場全体を練り歩いてくれた阿波踊りは大迫力で、大きな拍手とともに一緒に踊りだす高齢者の方もおりました。ケアハウス前には企業展示のテントが並び、熱心に福祉用具等の説明を聞く来場者の方が印象的でした。また、浴風園前広場の模擬店コーナーでは、人気の「芋煮」やカレー、肉まんなどはあっという間に完売。骨密度などを測る健康測定は毎年人気で、行列ができました。ケアハウス利用者によるバザーや地域住民によるフリーマーケットの他、杉並区スポーツ推進委員の方による「ニュースポーツ体験」にもたくさんの人が立ち寄ってくださいました。

活アワビの販売も大人気でした！

A会場　認知症介護研究・研修東京センター

10:00 京極理事長の挨拶で開幕。認知症や排泄、脳卒中、アロマテラピー等の講座には多くの方が参加されました。また、絵本の読み聞かせや健康講座も開催。ペッパー君の登場に子どもたちも興味深々！

B会場　本館

本館内では、カフェコーナーを開催。管弦楽や生バンドの演奏を聴きながら飲むコーヒーは最高！！トランペットはナント 90 歳の方です！！

C会場　コミュニティホール

ホールでは認知症予防体操、太極拳、小中学生の発表、エイサー、ファッションショー、じゃんけん大会が開催されました。なみすけ＆ナミーによるじゃんけん大会は賞品をかけて大盛り上りとなりました。

なみすけ＆ナミーも
ダンシングヒーロー♪

毎年恒例となった「浴風会歴史建造物ツアー」も大人気企画です。定員の倍以上のお申込者があり、解説を聞き、礼拝堂や本館をめぐりました。

D会場　浴風会病院・老健くぬぎ

病院ロビーでは体力測定や健康相談、老健くぬぎやリハビリ室の見学会を行いました。また、一般の方は普段入れない６階の職員休憩所を浴風会全体を一望できる「展望休憩スペース」として開放しました。

E会場　第三南陽園

3 特養の機能訓練室合同の「さかきの木作品展」では、これまでに作った作品の展示と手作り体験や健康体操を実施。フランクフルトやコーヒーの模擬店、南陽園のバザー等盛況でした。

浴風会の動き（10月）

大規模地震想定訓練（10月31日）

【本部事務局】

3日「秋季彼岸法要」開催。
5日「顧問参与会」開催。
10日「福祉新聞フォーラム」理事長講演、職員2名参加。
11日ベトナム職業健康・環境研究所5名見学。
12～18日監査法人による拠点監査（本部事務局、第二南陽園、松風園）。
16日杉並区グループホーム実地監査（ひまわり）。
都社協主催「都民フォーラム」施設長5名参加。
20日「第7回浴風会つながるフェスタ　知る！見る！体験する！交流する！」開催。来場者550名超。
22日自治労（土佐清水市支部）2名見学。
24日「新宿中村屋」様より各施設利用者へ餡みつ等（6500個）を寄贈。
26日関東信越厚生局、施設基準等調査（浴風会病院）。
31日浴風会総合防災訓練実施。
第1部　法人全体「大規模地震想定訓練（伝達等）」
第2部　ケアハウス「総合消防訓練」
＊近隣3町会の皆様、杉並消防署、消防団の参加協力を得て実施。（浅井）

浴風会ケアスクール　Caféオレンジリボンウッド

1日～毎週月曜日「介護職員初任者研修」12期生・19名、講師：大津陽子氏、五味長武氏、瀧浪美也子氏、（職員）服部、赤澤、鈴木。
5日豊島区受託事業「豊島区ケアマネ対象4回連続スキルアップ研修」定員60名。講師：渡部律子氏、加藤充良氏、國安眞理氏、谷澤隆子氏、（職員）服部。
10日「よくふう語ろう会」参加者17名。
12日杉並区社会福祉協議会受託、「ささえあいサービスフォローアップ研修」受講生12名・講師：（職員）西村、藤原、寺林、小室。
16日豊島区受託講座「第1回認知症スクール」参加者53名。講師：古田光氏。
26日cafeオレンジリボンウッド開店。来店者59名。次回は11月12日（月）みなさまのご来店をお待ちしております。
30日新宿区受託事業「地域安心カフェ」第1回フォローアップ研修。参加者22名。講師：（職員）服部。
31日「特別区職員互助組合介護講座」知って安心　介護の準備②～正しい知識で不安解消～43名。講師：國安眞理氏、（職員）服部。（鈴木）

【老人福祉事業】

浴風園（養護老人ホーム）

3日「小田原への日帰り旅行」。今年も合計43名のご利用者様が参加されました。鈴廣かまぼこの里を訪ね、昼食や買い物をお楽しみいただきました。昼食はかまぼこ以外にも金目鯛の炙り飯、お刺身、おでん、自家製豆富などのメニューが用意され、普段とは一味違った食事を味わっていただきました。
20日「芋煮会」。浴風会つながるフェスタ来園の皆様にもご提供させていただきましたが、午後には当園ご利用者様にもお楽しみいただき、今年もおいしいとの感想をいただきました。（宮崎）

松風園（軽費老人ホーム）

11日「上野動物園への日帰り旅行」。参加者の中には、「50年ぶりに上野動物園に来た」と当時のご子息、ご息女との思い出を懐かしむ方もおられ、50分待ってジャイアントパンダの赤ちゃん「シャンシャン」の様子を見て感動される方もおられました。昼食は中華料理をコースで堪能され、帰路には、バスガイドさんの説明を聞きながら、車中から豊洲市場やオリンピック会場の建設現場を見学しました。（宮中）

浴風会ケアハウス

1日「オータムコンサート」開催。スイスの名門オーケストラで活躍するファゴット奏者とオーボエ奏者をお迎えしました。
20日「浴風会つながるフェスタ」では、ケアハウス玄関にてバザーを開催しました。また、ファッションショーでは多くの方のご協力を頂きました。
24日「河口湖日帰りバスハイク」開催。（隈本）

【介護保険事業】

南陽園（特別養護老人ホーム）

9月28日「アクティブ福祉in東京，18」開催（京王プラザホテル）。今年度は「緊急ショートステイを受け入れ続けることで見えてきた在宅生活の課題」について発表し、日本介護福祉士養成施設協会長賞を受賞しました。
1日ミュージックボランティア協会主催の「みんなの音楽会」に南陽園合奏団、ハッピースマイル南陽園の2チームが参加し、日頃の練習の成果を披露しました。
6～7日高井戸区民センターの秋祭り。浴風会は毎年ご利用者の作品を展示しており、南陽園は、各クラブ活動やリハビリスタッフと共に作成した作品を展示しました。
9日「皇居バスハイク」。晴天の中、ご家族も多数参加され楽しく過ごすことができました。（丸山）

南陽園在宅サービスセンター（認知症対応型通所介護）

23日「30年度第1回運営推進会議」開催。お客様ご家族・地域の方・杉並区職員・地域包括支援センター職員・居宅介護支援事業所介護支援専門員の方にお集まりいただき、上半期の活動を報告しました。ご家族が日々感じておられることや、地域の方々のご意見を頂戴し、大変参考になりました。

他者とのかかわりを持ち、少しでも潤いと生きがいを感じていただける場として、さらなるサービスの質の確保に努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。（徳増）

★各事業のお問い合わせは随時行っておりますので、お気軽にご連絡下さい。（徳増・工藤）
◎電話03―3334―2743

第二南陽園（特別養護老人ホーム）

9月28日　「アクティブ福祉in東京2018」で、「インカムを導入し職員間の連携を強化し安全でスムーズな利用者対応の実現」を発表しました。

11日　ご利用者・ご家族と東京タワーにバスハイクに出掛けました。

12日　恒例の災害時想定の炊き出し訓練を行いました。今回は富士見丘中学校の生徒さん達7名が参加してくれました。

21日　1階フロア家族懇談会を行いました。11月は3階フロア家族懇談会を行う予定です。

24日　第三者評価の訪問調査を受けました。（山崎）

第二南陽園在宅サービスセンター（通所介護、介護予防通所介護）

6～7日　高井戸区民センターまつりに、お客様の作品を展示しました。

5～9日　セシオン杉並で行われた総合文化祭に、絵手紙を出展しました。（尾滝）

★見学申し込みやデイサービスへの質問やお問い合わせもお待ちしています。
◎03―3334―2140

第三南陽園（特別養護老人ホーム）

7～8日　高井戸区民センターまつりに、ご利用者の作品を出品しました。8月に阿佐谷七夕まつりに出品した「天の川の金魚」をはじめ沢山の作業活動の作品や、フロアの書道クラブや絵手紙クラブなどの作品を展示しました。

20日　「浴風会つながるフェスタ」の中で「さかきの木作品展」を開催しました。日頃の作業活動で作成したご利用者の作品の展示や、ステンシルで色をつけるバッグ作りのワークショップ、機能訓練指導員による体操教室を開催しました。また、ピロティーではフランクフルトの販売や、綿あめ、コーヒーの無料サービスも行い、小学生をはじめ、300名近い近隣の方々にお越し頂き、「楽しかったわ」と大変ご好評を頂きました。（谷口）

グループホームひまわり

1日　「みんなの音楽会」。皆さん、お揃いの衣装で、ベサメムーチョとシューベルトの子守唄を披露しました。練習の成果をいかんなく発揮され、楽しい音楽で会場を巻き込み大盛況でした。

4、19、22、24日　「深大寺バスハイク」。お昼は深大寺そばに舌鼓をうち、その後は日々の喧騒を忘れさせてくれる美しい緑に囲まれた深大寺をのんびりと散策され、木々の間からこぼれる陽射しを浴びながら気分転換を図られていました。（村下）

【地域サービス事業】

地域包括支援センターケア24高井戸

ケアマネや訪問介護・通所介護の事業所の方々と連絡会を開催していましたが、今回は10月16日に福祉用具の事業所連絡会を開催しました。介護保険制度は改正を重ね、現在は「個人の尊厳を保持し、できる限り自立した日常生活を送れるよう、必要なサービスを総合的かつ一体的に提供するため、社会全体で支え合う制度」という理念のもと、杉並区でも皆で考える場が生まれています。公的な介護保険サービスだけでは足りないため、地域の資源の活用が大切であり、その為には、お互いを知る場が地域の中に必要です。

今年度、設置予定の協議体には、福祉関係者だけでなく、様々な立場の方や世代も超えて、地域の事を一緒に考える皆様に集まっていただきたいと考えています。良い知恵がありましたら、是非、お声掛け下さい!!（尾関）

杉並区地域包括支援センター
ケア24高井戸
◎電話03―3334―2495

【病院事業】

浴風会病院

今年もインフルエンザ予防接種のご案内を開始しております。当院の予防接種は予約制となっております。満65歳以上の方には区より「インフルエンザ予防接種予診票」が届きますので、忘れずにお持ちください。ワクチンが無くなり次第終了となりますので、お早目のご予約をお願いいたします。

お電話でのご予約は、月曜～金曜（祝日を除く）午前9時から午後5時までです。（中澤）

◎03―3332―6511（代表）

老健くぬぎ（介護老人保健施設）

20日　「浴風会つながるフェスタ」では、「くぬぎ見学会」を行いました。見学や施設概要の説明で1時間ほどの見学会でしたが、午前と午後の2回に計23名の方がご参加されました。

22～24日　3階デイケアにて大運動会を実施しました。玉入れやパン食い競争などの種目にご利用者だけでなく職員も参加し大いに盛り上がりました。

老健くぬぎも開設5年目を迎えました。地域の皆さまのご理解やご協力に感謝しつつ、より良いサービスが提供できるよう努めて参ります。今後ともよろしくお願い申し上げます。（森屋）

★入所・デイケア・ショートステイご利用のご相談はお気軽にご連絡ください。
◎03―5336―7701（代表）
◎03―5336―7734（入所）
◎03―5336―7704（デイケア）

【研究・研修他】

認知症介護研究・研修東京センター

1日　行政担当者セミナー（62名受講）

4～5日　認知症地域支援体制推進合同セミナー（195名受講）

8～19日　第2回後期認知症介護指導者養成研究（18名修了）

11～12日　追加回認知症地域支援推進員研修（仙台市・121名修了）

22日　AI職員研修

30～31日　第9回認知症地域支援推進員研修（大阪市・修了者数次号報告）（村上）

浴風会病院　診療案内　⑰

看護部門の紹介

看護部長　川代　たつ子

浴風会病院看護部門は、５つの病棟、外来、在宅医療介護支援室に在籍、病院の入退院調整に係る業務を担当、そして管理部の部署と病院内で勤務しています。非常勤職員を含む総勢 160 名余りで構成しています。看護師（男性５名を含む）100 名余りと介護福祉士等（当院ではケアワーカーと呼んでいます、男性７女性３の割合）で１つの看護チームとして協働しています。

看護師・ケアワーカーのユニホームは、５色（ピンク、バーガンディ、ピーコック、Ｒブルー、ホワイト）スクラブタイプと一般的な白衣 (白＝看護師、水色＝ケアワーカー) です。二交替制で３６５日２４時間切れ目なく、「患者さんの尊厳を守り人生の先輩として尊重し、優しく思いやりのある看護」をめざし研鑽しています。

≪スキンケア・認知症看護にも力を入れています≫

日本看護協会認定の皮膚・排泄ケア認定看護師や認知症看護認定看護師がいます。皮膚・排泄ケア認定看護師を中心として、褥瘡（床ずれ）予防や処置、高齢とともに脆弱になりがちな皮膚へのケアに十分配慮して日常ケアにあたっています。

認知症ケア認定看護師を中心に関係部門と協力し、看護・介護の提供を行っています。また東京都認定の認知症看護に関する研修受講は延べ 30 名の看護師が修了。年間研修計画を策定し、それに則って全看護職員の看護・介護の力を高めるよう取組んでいます。

≪後輩育成は共育と認識して≫

看護体験の希望者（中学生・高校生・社会人）の受入れも行っています。東京医科歯科大学病院看護学部の看護実習や聖路加国際大学認定看護師教育課程（認知症看護）の臨地実習を受け入れ、未来の看護師育成（後輩育成）にも貢献しています。実習生を受け入れることは、自分たちも成長できることと認識し、可能な限り受入れることにしています。

患者さんやご家族の意見をお聞きしながら、患者さんも看護職員も相互が満足を高められるよう努力して参ります。

お問合せ　浴風会病院　０３-３３３２-６５１１（代表）

ご芳志

平成30年9月16日から
平成30年10月15日

多くの方々よりご芳情をいただきました。ありがとうございました。

〈金品・物品〉

林　泰様、宮沢　郁子様、
東京ミュージック・ボランティア協会様、
大熊　とめ子様

●ほか、各施設にもいただいております。

編集後記

中央省庁等の公的機関が障害者雇用率を満たさず、雇用数を水増ししているとしてメディアをにぎわしています。障害者雇用促進法では、従業員数が一定以上の民間企業や国、地方自治体に対して、一定率以上の障害者を雇用する義務を課しています。これは、障害者と健常者等との共生社会を実現するため、障害者雇用を義務化して、就労による障害者の自立を促すねらいがあるためです。

法定雇用率を達成できないと、従業員100人を超える事業主の場合、１人不足するごとに原則月額５万円を国に納めなければなりません（但し、この納付は公的機関には適用されない）。一方、超えていれば、報奨金が支給される仕組みです。当会の場合、昨年は、法定雇用率２％の162名に対して、残念ながら障害者手帳所持者は158名だったので４名不足でした。法定雇用率は30年４月から2.2％、さらに33年までに0.1％引き上げるとされており、更なる法人努力が問われています。（つ）

【ご意見をお寄せください】
〒168-8510※住所なしで届きます
機関紙「浴風会」編集部係
soumu2@yokufuukai.or.jp
http://www.yokufuukai.or.jp/